

地熱珈琲

Roasted in 小国郷

地域課題

- 観光地なのに人が来ない。
- 滞在するアイテムがない。
- 地熱を楽しめるきっかけがない。

自己課題

- 日本中どこにでも“コーヒー屋”はある。

X

コンセプト

わいた温泉の地熱を体感するオンリーワン珈琲で
人が訪れるきっかけを。

事業内容

“地熱珈琲”ブランディング



特徴①珈琲焙煎技法
温泉地熱×アームズメソッドで
オンリーワンのコーヒー焙煎

“珈琲焙煎所”open



特徴②立地
わいた温泉郷の一等地にある焙煎所
元・地熱乾燥小屋

“蒸し場”体験



特徴③映える・体感
映える店舗とデザイン
おしゃれな体験（蒸し場）

ターゲット① (to C)

- 温泉旅館(わいた、杖立、黒川)の売店コーナー
- 物産館 (ゆうステ、きよらカアサ、瀬の本etc)

ターゲット2 (to B)

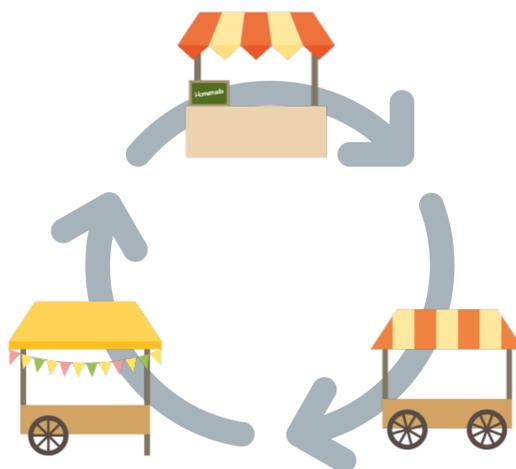
- 小国郷観光客 (旅の思い出 (体験) や、土産や思い出の品 (地場産品) を求める人

目標

“わいたバル”開催



“3つの点(店舗)”誘致



地域・企業連携 (コーヒー農園)

